



お元気ですか
志村 たかよし です

第511号 2010年9月26日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

高齢者の「所在不明」「無縁社会」問題… 行政は責任もって解決を

9月20日は「敬老の日」。

百歳以上の方は、全国で過去最高の4万4449人、中央区でも44人いらっしゃいます。

「敬老の日」を迎えたすべての高齢者の方々に心からお祝い申し上げます。

今年の夏は、「所在不明」の高齢者問題がクローズアップされ、異常な猛暑のため「熱中症」で亡くなる方もたくさんいらっしゃいました。

「長寿国」日本に、高齢者の「無縁社会」が広がっていることが浮き彫りにされました。



実態がつかめない行政に責任

最大の責任は、高齢者の方々の生活実態をつかめていない行政にあると思います。

70年代は、高齢者サービスを行政が直接行い、職員が高齢者を訪問し、健康状態や暮らしぶりの実態をつかんでいました。

ところが、10年前の介護保険制度導入後、福祉サービスを民間企業などに任せってしまったため、行政として高齢者の実態把握の機能が低下してしまっただけです。

現在、介護サービスを受けている方は介護保険加入者の2割弱です。ケアマネジャーは、介護サービスを申請しない人は訪問しませんので、「介護情報」から高齢者の情報を得ようとしても限度があります。

区は、民生委員の訪問による「ひとり暮らし高齢者実態調査」など、生活状況を確認してきました。

しかし、「消えた高齢者」問題を受け、90歳以上の方947人（7月現在）、「実態調査」の時、留守などで調査できなかった70歳以上の方243人の安否確認を、区の職員がおこなっています。

この10年間で、自治体職員は、福祉部門を含め大幅に減らされ、中央区も2割余の職員を減らしてきました。

福祉の専門性がある区職員を増やすと共に、ケアマネジャーなど民間とのネットワークを強化し、行政の責任で、高齢者を見守るシステムの構築が必要です。

安心して暮らせる「まち」中央区を作っていきますよ。

区議会の自民・公明・民主などが 「緑地保存」を求める請願（署名2225筆）に反対しました



史跡のプレートと緑地=6/4

9月17日の本会議で、元明石町資料室室長の清水正雄氏が2225筆の署名とともに提出した「史跡『月島の渡し』の保存を求める請願」が、自民、公明、民主などの反対で不採択となりました。

請願は、月島と築地を結んだ「月島の渡し」の船着場跡地（築地七一九一）の緑地が、隣地に計画しているマンション2階以上の玄関（1階玄関はバス通り

側）設置のため削られるとして提出され、7月に審議が始まったばかりでした。2ヶ月後の採決とは、異常な速さです。

この史跡「月島の渡し」は07年に区議会全会派の賛同をえて緑地として保存することが採択されました。今では、教育委員会の説明プレートが設置され、緑が茂り、桜の記念樹もスクスクと成長して地元に根付いています（写真）。

以前は自ら賛成した史跡の緑地を、今度は、マンションのために削ることを認め

た自民、公明、民主などの態度に、清水元室長や署名した方々は、怒り心頭です。

宗派がちがう「カトリック築地教会（カトリック東京大司教区）」「聖路加国際病院礼拝堂（日本聖公会）」「築地本願寺【本願寺築地別院】」が、「平和」と「オルガン」の共通点で「築地風琴会」を結成し、9月11日、「平和を願うつどい」を開催しました。3つの会場では、おそかにパイプオルガンが響きました。

宗派を超えて響くオルガン 「平和を願うつどい」

宗派がちがう「カトリック築地教会（カトリック東京大司教区）」

「聖路加国際病院礼拝堂（日本聖公会）」「築地本願寺【本願寺築地別院】」が、「平和」と「オル

ガン」の共通点で「築地風琴会」を結成し、9月11日、「平和を願うつどい」を開催しました。3つの会場では、おそかにパイプオルガンが響きました。



カトリック築地教会礼拝堂内



カトリック築地教会



聖路加国際病院礼拝堂



築地本願寺【本願寺築地別院】

「意見」「要望」など、お気軽にご連絡ください(03)5566-6000